

学習会（ワークショップ）①
ボランティアとは何か？

■このワークショップのねらい

1人ひとりの職員はボランティアに対して、どのようにイメージを持ち、何を期待しているのでしょうか。職員それぞれの意識の違いや捉え方をお互いに明らかにしながら、施設としてのボランティア観や期待するやボランティア像について話し合い、その位置づけと役割を整理します。

■スケジュール

標準的なスケジュール	分	ポイント
講義 趣旨説明と進め方 ▼	10	
個人演習 あなたのボランティア観を知る ～ボランティア活動の何を大切にしたいか～ ワークシート「この人たちは何者？」を配り、 1～5段階で評価する ▼	5	ワークシート項目次頁
グループでの結果共有 自分のチェックした結果と他の人の評価を報告し あい、傾向について話し合う ▼	15	評価した際の着眼点についても述べ合う
シートの解説 一つひとつの文章を見ながら、何に着目したかのやり とりをしながら、説明を加え、一人ひとりがボラン ティアという言葉について大切にしていることを確認 しあう。 ▼	10	
講義 ボランティア活動という言葉の歴史と意味を 知る ▼	20	参考文献『施設のボラン ティアコーディネーション』 （大阪ボランティア協会）
グループ演習 施設にボランティアを受け入れる意味 を考える ①メリット5つ、デメリット5つを挙げる ②グループとしてのもっとも大切な受け入れの意 味を1つ選ぶ ▼	40	大きめの紙に書き出し、貼 り出すといい
発表とコメント 施設としてボランティア受け入れの イメージを共有する	20	

■必要な教材、備品 模造紙1／2か、A3判の用紙数枚。マジック、ワークシート

研修の進め方ガイド>>>

■「この人たちは何者？」ワークシート項目

◆あなたは次のような行動をボランティア活動だと思えますか？< 1（思わない）～5（思う）までの5つの段階でお答えください） また、そう思った理由は何ですか？

- ① 交通違反をした会社員Aさんは、免許停止になるかわりに、罰則（義務）として50時間、知的障害者施設で作業を手伝った。
- ② 大学生Bさんは、こども博物館が実施している小中学生向けの企画を手伝っており、寸志として1回2000円もらっている。
- ③ Cさんは、息子がお世話になっているからと、息子が活動中だけボーイスカウトのリーダーになり、息子が辞めると同時に自分も活動を辞めた。
- ④ 銀行員Dさんは、ボランティア休暇を1年間とり、生活費は保証された上で、地域の障害者作業所の臨時スタッフとして活動した。
- ⑤ 中学生のE子さんは、ボランティアまつりの運営委員をしている母親に頼まれたので、会場のテント設置を手伝った。
- ⑥ 失業中のF男さんは、「職歴」を作るために、NGOでコンピューターのプログラミングを手伝っている。（3ヶ月後、そこを辞めて、コンピューター関連の求人に応募するつもりである）
- ⑦ Gさんは、自分が経営するアパートのまわりに不審な人がうろつくことが多くなったので、夜の見回りをするグループ作りにかかわった。
- ⑧ 専業主婦のHさんは、ホームヘルパー2級の資格を取ったので、その技術をさらに磨くために老人ホームで介護を手伝っている。
- ⑨ 専門学校生のIさんは、夏休みの宿題として、5日間、デイサービスセンターを訪問してお年寄りと話をした。
- ⑩ OLのJさんは、仕事が多忙のため、自分がボランティア活動をする時間のないのを恐縮して、震災基金に毎月寄付している。

■シートの解説：

①～⑩の文章にはボランティア観を話し合う上でかぎになる要素や性質が含まれています。何に着目したのかを引き出しながら、傾向をとりあげ、解説とコメントをします。

参考）ボランティア観を話し合う上でポイントになる着眼点

- | | |
|-----------------|------------|
| ①本人の自発性 | ②無償性 |
| ③利他性（他者に役立つ内容か） | ④本人の自己実現 |
| ⑤継続性 | ⑥本人の活動への共感 |
| ⑦活動内容の必要性 | |

■講義と発表へのコメント：

ボランティア活動は自発性にもとづく活動だからこそその「強み」と「弱み」があることを理解してもらいます。そのためにボランティア受入担当をはじめとする職員のサポートやお互いの長所短所をふまえての補い合いが重要であることを伝えます。